

務教生
総文厚
産業建設

委員会NEWS

平成20年度

一般会計補正予算

総務関係

●主たる事業

△防災事業
△インターネット基盤整備事業

●審査内容の主なもの

問 庁舎管理などの委託料の入札減少金による減額補正の額が大きいが、適切に管理できているのか。

答 当初予算は算定基準に基づき計上しており競争入札の結果による減額補正です。

問 本年度になり2か月を経過していますが、適切に管理・執行できていますか。

答 防災士養成講座の負担金については。

問 現在までに23地区中16地区において自主防



本番さながら

災組織が結成されています。

今後は、残りの地区の組織の結成と、運営するリーダーの養成が急務となっています。

このように、本年度は全国的組織である防災士研修センターの講座が本町で開催されるため、全地区の代表者に防災士認定研修を受講して頂きます。

文教関係

●主たる事業

△スクールソーシャルワーカー事業
△教職員用パソコン導入事業
△5・6年生音楽鑑賞事業

問 教職員用のパソコン

購入費は、リースではなく購入か。インターネット接続に係る費用

か。今まで教員用のパソコンを配備していないのか。パソコン単体の値段が高すぎると思うが誰が検収しているのか。また、ハードディスク容量はいくらか。

答 教員用のパソコンは、今年度から三年計画で教員全員に購入して行く予定であり、パソコン

56台と外付けハードディスク、ソフトウェア、パソコン設定費用、工事費が含まれます。監視課で見積のうえ、財政担当課を経て予算計上しています。外付けのハードディスクは、教員のデータ保存と共有用として各校で外付けハードディスク1台を設置し、その容量は、2テラバイトです。

問 パソコンのセキュリティ

について、人事異動により、先生が変わるが、個人に配備するパソコンの情報を誰が責任を持つのか。

委託先から、情報漏えいのおそれはないか。

答 松前町では、セキュリティポリシーに準じて各学校でも対応して行きます。

答 パソコン168台一

式を買い取りする場合は、パソコンを5年間のリース契約を結ぶより約600万円安くするため、費用対効果を考え購入します。



パソコン